

アプリケーションカタログ よう素溶液のファクター

関連業界	:	無機工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸化還元滴定
関連規格	:	JIS K 8001

1. 概要

容量分析では、滴定や添加などに用いる標準液のモル濃度を、端数の無い数値と、端数を係数にした数値に分けて正確なモル濃度を表しますが、そのときの係数をファクターと呼んでいます。0.05mol/L よう素溶液のファクターは、「JIS K 8001-1998 試薬試験方法通則」に基づいて、0.1mol/L チオ硫酸ナトリウムを用いて当量点まで滴定します。その滴定量からよう素溶液の濃度を標定し、算出します。当量点は、滴定曲線の最大変曲点です。

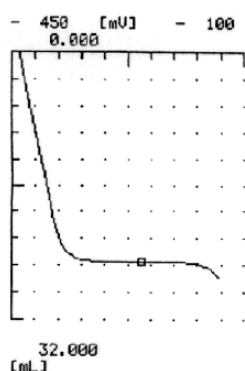
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	複合白金電極

3. 試薬

滴定液 : 0.1mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (mL)	Titer (mL)	Factor
1	25.0	25.2285	1.0091
2	25.0	25.0634	1.0025
3	25.0	25.0509	1.0020
平均			1.0045
標準偏差			0.0040
RSD (%)			0.40

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>